

各関係機関の長
各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

平成29年度病害虫防除情報第4号

かんきつのかいよう病の発生状況についてお知らせします。

各地域の発生状況を把握しながら適切な防除指導をお願いします。

かんきつのかいよう病の適切な防除を行いましょう。

- 1 作物名 かんきつ
- 2 病害虫名 かいよう病
- 3 発生状況（経過）

- 1) 6月中旬巡回調査における春葉の発生面積率は27.8%（平年13.2%）、発病葉率2.3%（平年1.2%）でいずれも平年に比べてやや多、発病度は0.82%（平年0.26%）で平年に比べて多であった（図1、2）。また、中晩柑においても同様に、春葉の発生面積率は50.0%（平年20.0%）、発病葉率4.3%（平年1.9%）でいずれも平年に比べてやや多、発病度は1.93%（平年0.49%）で平年に比べて多であった（図3、4）。
- 2) かいよう病に比較的強い温州みかんでも発生がやや多い状況である。

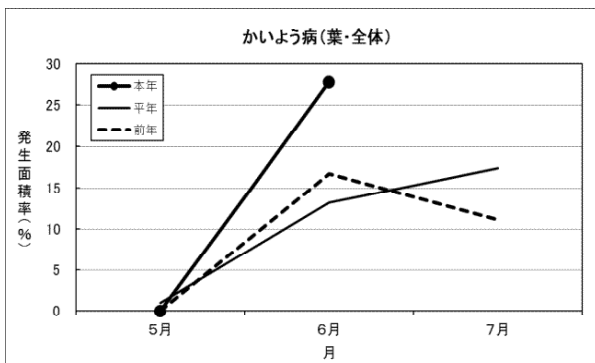


図1 月別発生面積率の推移（葉・全体）

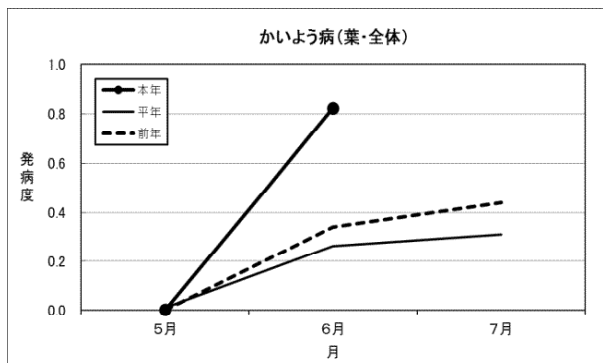


図2 月別発生度の推移（葉・全体）

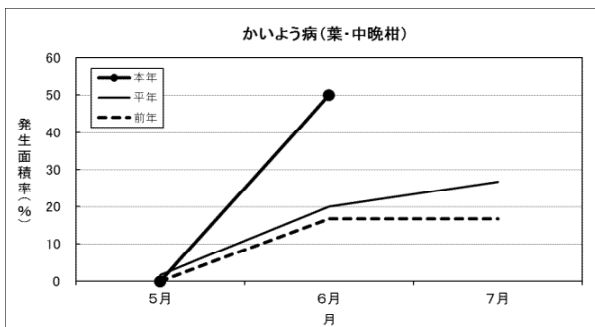


図3 月別発生面積率の推移（葉・中晩柑）

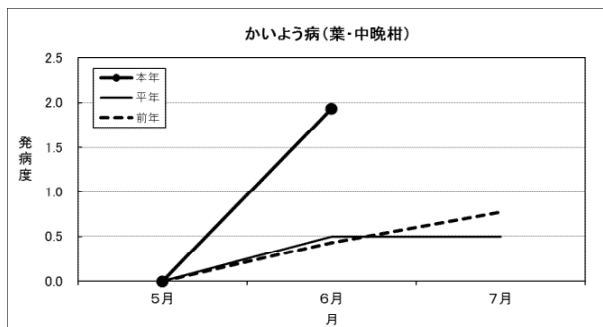


図4 月別発生度の推移（葉・中晩柑）

4 防除上の注意

- 1) 発病した枝葉は伝染源となるため、できるだけ除去し、園外に持ち出し適切に処理する。
- 2) 雨風による傷から感染しやすいので防風垣等を整備して、枝葉を傷めないようにする。
- 3) ミカンハモグリガの被害も病原菌侵入口となるため、夏秋梢の発生の多いほ場では、防除を徹底する。
- 4) 台風襲来が予想される場合には、台風接近前に防除する（事後より事前の方が効果が高い）。
- 5) 無機銅水和剤による防除を行う場合は、炭酸カルシウム水和剤（クレフノン）200倍を加用する。

●農薬散布にあたっては、ラベル表示の確認を十分に行い、農薬使用基準を遵守し、危害防止に努めましょう。

●その他詳細については、西臼杵支庁・各農林振興局（農業改良普及センター）、病虫害防除・肥料検査センター等関係機関に照会してください。

《連絡先》

宮崎県総合農業試験場病虫害防除・肥料検査課

（病虫害防除・肥料検査センター） 松浦

TEL : 0985-73-6670 FAX : 0985-73-2127

E-mail : byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp